

放射能関係のお知らせ

2018年4月2回(C週)

お届け日: 2018/4/9~4/13

発行日: 2018/3/26



生協 パルシステム

本誌は、カタログ掲載の青果について、2018/3/22(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果実	甘夏	品目で検査済 小田原 検査予定 南伊豆
	いちご	品目で検査済 たまつくり・とちのみ・うつのみや・はが野・海上・佐原・遠州
	カラマンダリン	検査予定 小田原
	キウイフルーツ	品目で検査済 有機農法ギルド・小田原・やはた会
	清見	品目で検査済 小田原
	ゴールドンオレンジ	品目で検査済 小田原・久望
	りんご	品目で検査済 八峰園・ゴールド農園
	きゅうり	品目で検査済 八千代・野菜くらぶ・邑楽館林・村悟空・サンド旭・佐原 果菜類で検査済 谷田部・沃土・和郷 検査予定 みちのく野菜・たまつくり
	スナップえんどう	品目で検査済 南伊豆
	ズッキーニ	果菜類で検査済 沃土
果菜	トマト	品目で検査済 谷田部・葉菜野果・うつのみや・野菜くらぶ・いちかわ 果菜類で検査済 沃土・元気会・村悟空
	ミニトマト	品目で検査済 あゆみの会・元気会・沃土・村悟空・和郷 果菜類で検査済 八千代・野菜くらぶ・サンド旭
	アスパラ	品目で検査済 うつのみや 葉菜類で検査済 あゆみの会
	大葉	葉菜類で検査済 村悟空・和郷
葉菜	かき菜	葉菜類で検査済 夢みなみ・谷田部・野菜くらぶ・沃土
	キャベツ	品目で検査済 常総産直研・野菜くらぶ・村悟空・海上・佐原・和郷・三浦市・三浦EM・遠州 葉菜類で検査済 八千代・沃土 検査予定 たまつくり・よこすか葉山
	小松菜	品目で検査済 有機農法ギルド・群馬モグラ 葉菜類で検査済 谷田部・たまつくり・やさと・葉菜野果・野菜くらぶ・沃土・南埼玉・佐原・八街・風土の会・草の会
	サニーレタス	葉菜類で検査済 谷田部・有機農法ギルド・八千代・常総産直・野菜くらぶ・海上・八街・和郷・風土の会
	チンゲン菜	品目で検査済 あゆみの会 葉菜類で検査済 葉菜野果・沃土・佐原・和郷・八街・遠州
	にら	品目で検査済 元気会 葉菜類で検査済 葉菜野果・野菜くらぶ・和郷
	ねぎ	品目で検査済 沃土・八街 葉菜類で検査済 谷田部・たまつくり・八千代・利根川・南埼玉・村悟空・佐原
	葉ねぎ	葉菜類で検査済 沃土・村悟空・海上・佐原・サンド旭・南伊豆
	白菜	葉菜類で検査済 谷田部・八千代・常総産直

分類	品目名	放射能検査の状況
葉菜	ベビーリーフ	品目で検査済 フェニクス・レインボー
	ほうれん草	品目で検査済 たまつくり・草の会 葉菜類で検査済 谷田部・有機農法ギルド・八千代・常総産直・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会
	みず菜	品目で検査済 葉菜野果 葉菜類で検査済 谷田部・佐原・沃土
	ルッコラ	葉菜類で検査済 葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済 やさと・野菜くらぶ・佐原・サンド旭 葉菜類で検査済 谷田部・常総産直・八千代・南埼玉・沃土・海上・八街・和郷・風土の会
	若芽ひじき	品目で検査済 寺島
	かぶ	品目で検査済 谷田部・沃土・八街 根菜類で検査済 たまつくり・八千代・佐原・和郷・風土の会
	しょうが	根菜類で検査済 和郷
	大根	品目で検査済 海上 根菜類で検査済 谷田部・たまつくり・八千代・葉菜野果・沃土・村悟空・佐原・八街・和郷・風土の会
	にんにく	品目で検査済 田子 検査予定 ゆうき青森

●きのこ類 放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済 飯山
エリンギ	品目で検査済 小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
生きくらげ	品目で検査済 きのこ総研
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済 谷田部
なめこ	品目で検査済 谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済 谷田部
ささかみのまいたけ	品目で検査済 ささかみ
山えのき	品目で検査済 有倉
4種のきのこセット	品目で検査済 谷田部・雪国・丸金グループ *生しいたけからは放射能が検出されました

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県)以外の本州17都府県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2018/3/21	9.4
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
4種のきのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり	日本の稲作を守る会	2017/10/18	3.1 4.8
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

*白米で検査を行ったところ、放射能の検出はありませんでした。

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 343	もやしと産直豚バラ	2017/11/6	3.8
きなり 293	肉のチャンプルー		
きなりセレクト 341045	ツトのしいたけ		
コトコ 342	ひき肉と春雨のオイスターソース炒め	2017/11/6	3.8
きなり 295	ツトのしいたけ		
コトコ 350	ひき肉入り具だくさん卵の花セット	2018/3/21	9.4
きなり 299	しいたけ		
コトコ 111309	ほうれん草の五目炒め	2018/3/21	9.4
きなり -	ツトのしいたけ		
コトコ 111333	豚団子と春雨のサンラータン風	2018/3/21	9.4
きなり -	ツトのしいたけ		
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 334	冷凍さつまいもスティック	2017/11/20	1.3
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

*yumyum 掲載商品につき、検出下限値を1Bq/kgで検査を行っています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	-	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

海産生物中の放射性セシウムについて

前回に引き続き、財海洋生物環境研究所より平成 11 年に発表された「海産生物中の放射性セシウム濃度とその変動」から、いくつかの海の魚について高い放射能を蓄積していることがわかりました。そのことより今回、「スズキ」の計測状況について取り上げます。

スズキの生態

地方によっては、出世魚として名前がかわるスズキ。小さいものを「セイゴ」と呼び、それ以上になると「フッコ」と呼ぶようです。北海道から九州までの日本沿岸に生息し、河川・河口と海とを回遊する生活をしています。淡水でも生息できる性質をもちます。淡水で生息できる魚類は、体内の塩類を排出しにくい「浸透圧調整機能」をもっているため、セシウムをため込みやすい傾向があります。今回の「海産生物中の放射性セシウム濃度とその変動」の中では、スズキの食性が肉食で大型の魚を食べるため、スズキの魚体が大きいほど放射性セシウムを蓄積したことを示していました。

2017 年度のスズキの検出について

食品中の放射性物質検査データ (<http://www.radioactivity-db.info/>) では厚生労働省の検査データが確認できます。

それにより、スズキを確認すると 2018 年 3 月 20 日時点で 2017 年度は 327 件の検査データがあり、107 件の検出がありました。

最大値は、2017/11/30 に千葉県銚子・九十九里沖で採取されたスズキでセシウム合計 66Bq/kg (セシウム 134:6.87Bq/kg、セシウム 137:59.3Bq/kg) でした。全体の平均は 6.0Bq/kg でした。

採種件数が最も多いのは千葉県、次いで茨城県で、セシウム合計の平均は、高い順に福島県 15.5Bq/kg、茨城県 9.9Bq/kg、千葉県 5.0Bq/kg でした。

スズキの生態の特殊性(淡水でも生息できる、大型の魚を食べる)により放射能が検出しやすい傾向にあります。それでも 2016 年度の最大値 87Bq/kg、検出平均値 8.5Bq/kg よりも 2017 年度は低下してきています。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1073)」(2017/4/26~2018/2/23 で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体のうち、20Bq を超えたものです。

シイタケ(菌床・原木):茨城県常陸太田市ほか 4.9~46Bq/kg
 イノシシ肉:茨城県鉾田町・筑西市・つくば市 3~75Bq/kg
 ヤマドリ肉:岩手県一関市・大船渡市ほか 13~96Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体のうち、20Bq を超えたものです。

シイタケ(菌床・原木):福島県本宮市ほか 3.9~21Bq/kg

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところとがありますが、状況はきちんと把握できていません。

放射能を多く含んだ食品を、知らず知らずに口にしている可能性があります。検査されず、流通している商品が今では多くなっていますので、検査をしているものを選ぶことをお勧めします。

栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。

3 月の放射能検査状況

3 月の検査は、16 日までで、しいたけより原木しいたけ(7.4Bq/kg)から 1 件、自主基準内の検出がありましたほかは、すべて不検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	3 月	検出内容	3 月
青果	11 (0)		0 (0)
しいたけ	3 (1)	原木しいたけ 7.4 Bq/kg	魚介類 22 (0)
その他のきのこ類	1 (0)		飲料水・飲料 6 (0)
米・米飯類	0 (0)		乳幼児用食品 20 (0)
牛乳・乳製品	6 (0)		その他加工食品 101 (0)
肉類	0 (0)		合計 170 (1)

2017 年度の放射能検査の状況(2017 年 4 月~2018 年 2 月)

青果	柑橘類の不知火より 1 件(3.2Bq/kg)で自主基準内で検出がありました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1~21Bq/kg)が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	日本の稲作を守る会の玄米(こしひかり)より 2 件(3.1、4.8Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されましたが、白米で検査したところ不検出でした。 2017 年産米は、27 産地 69 検体の検査が終了し、2 件検出、その他 67 件不検出でした。重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。 *放射能はぬか部分に多く蓄積するため、玄米で検査をおこなっています。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行っております。冷凍さつまいもステーキより 1 件(1.3Bq/kg)、産直野菜チップス(さつまいも・にんじん)より 1 件(1.2Bq/kg)が自主基準内で検出されました。
その他加工食品	<お料理セット> 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに 1 検体の検査を行っていません。2017 年より yumyum で掲載が開始され、検出下限値は 1Bq/kg で行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1~11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。 <乾物> 2017 年 7 月に岩手県産乾燥しいたけ(5.0Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。 <その他> 2017 年 12 月にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(8.2Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

●検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を 2 台導入して計測しています。yumyum および赤ちゃん&Kids の OK 食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を 1Bq/kg まで検査しております。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134, 137 の合計)			国の規格基準
2014 年 10 月より現行基準	現	旧	
水、飲料茶、牛乳、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50
飲料、乳製品、米	25	50	一般食品 100
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)			
しいたけ	100	100	

*乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位 Bq/kg)

*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。